

損保クラウド	ハイブリッド
2 利用ガイド	操作方法

サインイン

操作マニュアル

Ver 2.1

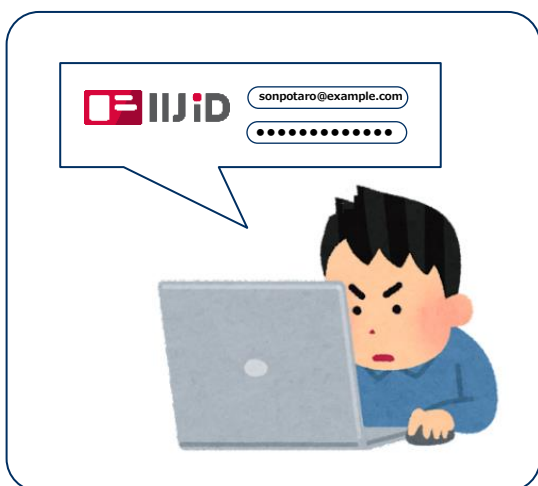
目次

サインイン
操作マニュアル

1	はじめに.....	2
2	損保クラウドにサインインする	4
2.1	損保クラウドの初回サインイン.....	5
2.2	損保クラウドの通常サインイン.....	16
3	サインイン設定の変更と確認.....	20
3.1	パスワードの再発行	21
3.2	サインインの履歴を確認する	22
3.3	多要素認証の通知先を変更する	24

1

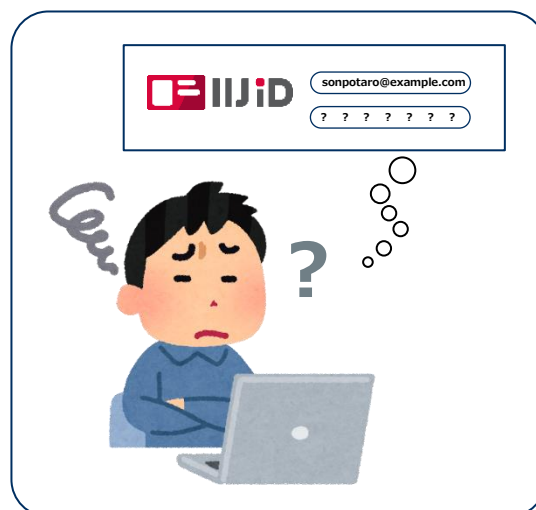
はじめに



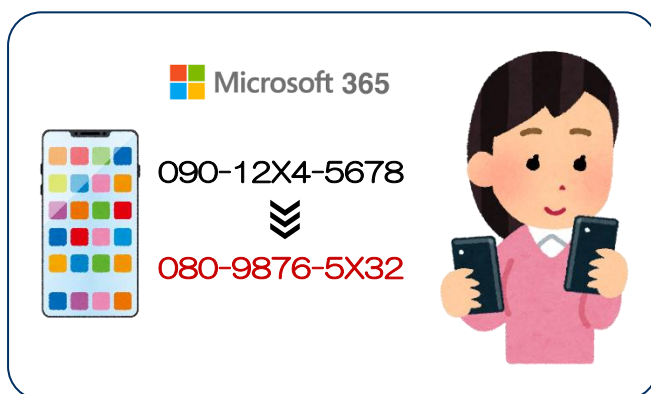
▶ 初めてのサインイン

初回サインイン時における仮パスワードの変更と、多要素認証の通知先の登録、通常利用する際のサインイン手順、更にはパスワード不明時の対処方法や、多要素認証の変更方法を掲載しています。

本マニュアルは、損保クラウドサービスを使用する際に必要となるサインイン手順と、これらに伴い発生したトラブルや、設定変更の方法を掲載した利用ガイドです。



! パスワードが分からない



💡 多要素認証の通知先を変更

最初の作業となるサインインが適切に進まない場合には、メール機能を含む Microsoft アプリの使用は出来ません。

これらを踏まえ、初回サインイン以降の通常運用する際にも、本マニュアルをご活用ください。

< 作業開始にあたり事前に必要な環境や情報 >

- ・ **インターネット接続**が可能な通信環境
- ・ 管理者アカウントでログインしている **Windows OS のパソコン**

※本書では以下の環境を利用しています。

パソコン: Windows 10 64bit インターネットブラウザ: Microsoft Edge

- ・ サインインに必要なパスワードを含む**認証情報**
※認証情報は事前に管理者にご確認ください。

< 損保クラウドサービスのご利用時における推奨環境 >

以下のシステム要件に該当しない環境でのご利用は、**サポート対象外**となります

■オペレーティングシステム

Windows 10、Windows 8.1

※Mac OS 及びスマートフォンやタブレット端末の iOS、Android OS は動作保証外

■ブラウザ

Microsoft Edge、Safari 12.0.1 、Chrome 70.0.3538.110 、Firefox 63.0.3

(Safari/Chrome/Firefox についてはその時点の最新バージョンで利用)

※Teams のビデオ会議利用の場合は制限事項があります

■ハードディスク

Window: 使用可能ディスク領域 4.0 GB

■メモリ

Windows: 4GB RAM、2 GB RAM (32 ビット)

■コンピュータとプロセッサ

Windows: Windows: 1.6 GHz 以上、2 コア。

Skype for Business を使用する場合は 2.0 GHz 以上を推奨

■認証連携

先進認証を利用しているため、クライアントアプリ利用の場合は Office 2016 以降対象
Office 2013 はレジストリ変更が必要。それ以下のバージョンは非対応

サインイン 操作マニュアル

2

▶ 損保クラウドに サインインする

☒  ☒  Microsoft 365

損保クラウドサービスのご利用にあたり、「開通のご案内」に記載しているユーザーID とパスワードを用いた初回サインインの手順をご案内します。

また、初回サインインの際に実施したセキュリティ設定により、その後の通常利用時における多要素認証でのサインイン方法と、メールやストレージ機能のアプリ機能となる Microsoft 365 の画面表示までを、本章ではご案内します。

Chapter

2.1 損保クラウドの初回サインイン

2.2 損保クラウドの通常サインイン

2.1

▶ 損保クラウドにサインインする

損保クラウドの初回サインイン







ここからの作業は



「開通のご案内」に記載の“メールアドレス情報”にて初回サインインし、パスワードの変更と、多要素認証の際に必要な、SMS のコード通知先となる電話番号を登録します。

損保クラウドサービスでは、新規ご契約以降に申込内容の詳細を含む、利用可能なユーザー情報を記載した以下例のような「**開通のご案内**」を提供しています。

※例 <ハイブリッドプラン 開通のご案内>

 		開通のご案内		N2300XXXXXX
<p>Microsoft 365をお申込みいただき、誠にありがとうございます。 サービスご利用の準備が整いましたので、基本情報をお知らせいたします。 お客様情報や設定に関する情報をご案内しておりますので、大切に保管してください。</p>				
■お客様情報				
ご利用開始日	2023/9/1			
ご契約者名	損保 太郎			
お客さま番号	N2300XXXXXX			
ご利用サービス名	損保クラウドサービスMicrosoft365/パッケージ ハイブリッドプラン			
ご利用製品名	Microsoft 365 Business Basic			
■ご契約情報				
申込内容				
ご利用 I D 数	1	ID		
ドメイン情報	example.com			
ドメイン名	example.com			
II IDログイン情報(メールやMicrosoft365の各種機能のご利用はこちら)				
ログイン先URL	https://www.auth.iij.jp/console/			
DNSサービスオプション				
ゾーン名 (正引き)	example.com			
コントロールパネルURL	https://www.ntt.com/dnshosting			
認証ID	XXXXXXXXXXXX			
認証パスワード	XXXXXXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX			
プライマリDNSサーバ名	ns6-tk01.ocn.ad.jp			
プライマリDNS IPアドレス	61.207.9.4			
セカンダリDNSサーバ名	ns6-tk02.ocn.ad.jp			
セカンダリDNS IPアドレス	61.207.9.36			
■導入支援情報				
DNSゾーン情報サポートサービス		利用する		
■メールアドレス情報				
	ユーザー名	ログイン情報		注文内容
1	損保 太郎	ユーザーID sonpotaro@example.com パスワード読み仮名 パスワード(*1)	 	追加

(*1) 仮パスワードの有効期限は、2023年11月25日までとなっております。有効期限を過ぎた場合はパスワード再発行となります。

初回サインイン時に必要なユーザーID とパスワードは、「開通のご案内」の“**メールアカウント情報**”に記載していますので、本章での作業開始するにあたり、事前にご準備ください。

損保クラウドサービスのサインイン 使用するインターネットブラウザについて

損保クラウドサービスは、管理者による設定後に各ユーザーが損保クラウドを利用する際には、**インターネットブラウザからサインイン**、正しい ID とパスワードにて認証処理された後に、利用可能なサービスとなります。

ただし、同一のブラウザにて異なる複数ユーザーや、本サービスとは異なる契約の Microsoft 365 の情報でサインインしているような環境の場合には、ブラウザ側が保持する **キャッシュの影響により、認証処理が適切に出来ない場合**があります。

上記のような運用時のエラーを回避する方法として、Microsoft Edge や Chrome などのブラウザを使用時には、キャッシュの影響を受けない**インプライベートやシークレットウィンドウを常用する運用**が安全です。

インターネットブラウザのインプライベートやシークレットウィンドウを使用する際は、以下サポートサイト「よくあるご質問」に掲載している内容をご参照ください。

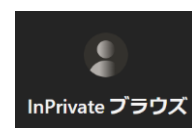
損保クラウド > よくあるご質問



【Microsoft Edge】
正しいユーザ ID とパスワードを入力しても
損保クラウドにログインできません

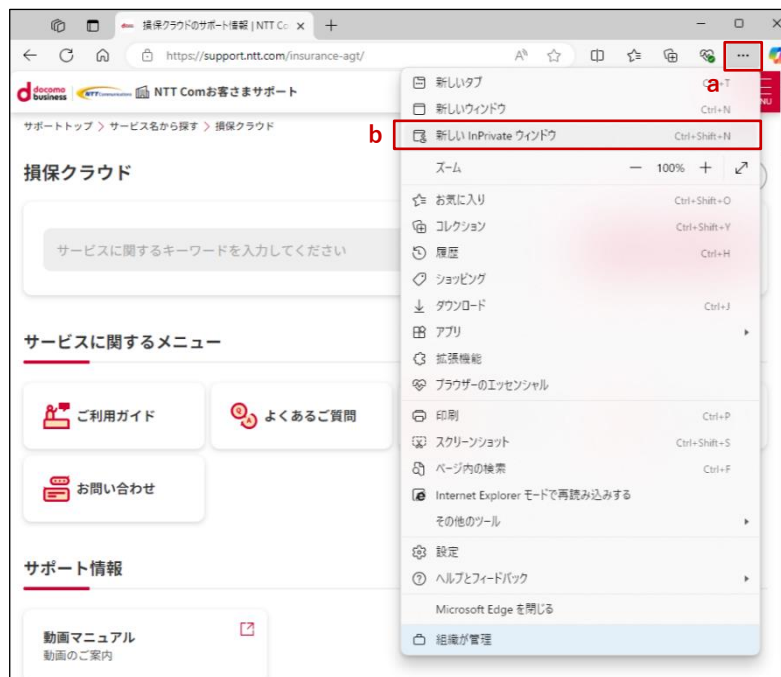


【GoogleChrome】
正しいユーザ ID とパスワードを入力しても
損保クラウドにログインできません

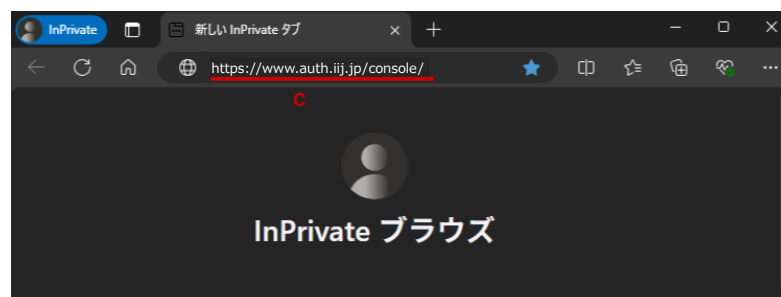


- (1) 本章ではインターネットブラウザを例として **Microsoft Edge** を利用し、キャッシュの影響を受けない方法として、**“インプライベートウィンドウ”** にて作業を実施します。

利用するパソコン端末にて Microsoft Edge を起動後に、画面右上の **a 三点リーダー […]** をクリックし、一覧より **b 「新しい InPrivate ウィンドウ」** を選択します。



起動した InPrivate ウィンドウの URL 欄に **c < https://www.auth.ij.jp/console/ >** を入力、または誤入力を防ぐ方法として、アドレスをコピーアンドペーストの上で IIJ ID にアクセスします。



- (2) 「開通のご案内」の“メールアカウント情報”に記載の[ユーザID]と[パスワード]を各画面に入力（コピー）し、[次へ]をクリックします。

■メールアカウント情報				
	ユーザ名	ログイン情報		注文内容
1	損保 太郎	ユーザID	sonpotaro@example.com	追加
		パスワード読み仮名		
		パスワード(*1)		

IIJiD

■ ID **a**

sonpotaro@example.com

次へ

※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください



IIJiD

■ ID sonpotaro@example.com

■ 仮パスワード **b**

.....

次へ



システムによる自動生成で発行されたパスワードに含まれる記号の読み方が、サインイン時に不明な場合には、以下サポートサイトの「よくあるご質問」を参照ください。

[開通のご案内に記載されている ID とパスワードに読めない記号があります。](#)

- (3) 「新しいパスワードの設定」にて “仮パスワード”（「開通のご案内」に記載のパスワード情報）と、“新しいパスワード”を確認用と合わせて各入力し、[パスワードを設定する]をクリックします。

IIJiD

新しいパスワードの設定

■ 仮パスワード

.....

▼パスワードのヘルプを開く

■ 新しいパスワード

.....

■ 新しいパスワード(確認用)

.....

パスワードを設定する

“新しいパスワード”は10桁以上で、以下条件が必須です。

- ・アルファベット大文字
- ・数字
- ・アルファベット小文字
- ・記号

※利用可能な記号は以下の種類

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[^_`{|}~|

※仮パスワードと同一での設定は不可

※上記は [パスワードのヘルプを開く] でも確認可能

“新しいパスワード”は●の伏字で表示されるため、誤入力の対策として、メモ帳などに文字が見える状態で一度入力し、それをコピーしたものを設定箇所に貼り付ける方法が安全です。



仮パスワードの有効期限について

「開通のご案内」の“メールアカウント情報”に記載のパスワードは、初回サインイン時に初期値から任意値の変更が要求され、その際の**仮パスワードの有効期限は90日**となります。

※＜仮パスワードの有効期限 記載例＞

■メールアカウント情報			
1	ユーザ名 損保 太郎	ログイン情報	
		ユーザID	sonpotaro@example.com
		パスワード読み仮名	sonpotaro@example.com
		パスワード(*1)	sonpotaro@example.com

(*1) 仮パスワードの有効期限は、2023年12月23日までとなっております。有効期限を過ぎた場合はパスワード再発行となります。

有効期限の90日を経過した仮パスワードは無効となるため、「開通のご案内」に記載している情報でサインインは出来ないため、**仮パスワードの再発行**が必要となりますので、そのような場合には、以下の担当窓口までご依頼ください。

■仮パスワード再発行のご依頼について

[新規お申し込み、ご契約について](#)に関するお問い合わせのご案内

※ 再発行には一定の日数と費用が生じますが、詳細は窓口にてご確認ください

なお、サインインの画面内に「[パスワードを忘れた場合](#)」が表示していた場合、このリンクをクリックし、自身で再発行するための処理は出来ませんので、ご注意ください。

パスワードを忘れた場合
のリンクはクリック NG

💡 IIJ ID のサインインについて

< IIJ ID のサインイン画面を「お気に入り」に登録する

損保クラウドサービスでは、機能上の正常性維持とセキュリティ仕様により、インターネットブラウザにて、IIJ ID の管理コンソールに都度アクセスしてのサインインが必要です。

IIJ ID の管理コンソールでのサインイン画面を、インターネットブラウザの「お気に入り」に追加する事により、簡易的なアクセスが可能です。

★マークをクリックすると
「お気に入り」として登録されます

- ご利用のインターネットブラウザが Microsoft Edge の場合 -



< IIJ ID サインインに失敗し、ユーザーアカウントがロックされた場合

IIJ ID のサインイン時に入力するパスワード情報が相違し、サインインを 10 回連続で失敗した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、サインインが出来なくなります。

上記の場合には、10 分程度で対象ユーザーへのロックは自動的に解除されるので、再度のサインインはその後にお試しください。

< 「開通のご案内」に記載の情報がサインイン出来ない場合>

「開通のご案内」のログイン情報（ID・パスワード）が正しいにもかかわらず、サインイン出来ない場合には、[「損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ」](#)までご連絡ください。

また、「パスワードを忘れた場合」が表示している場合には、クリックは控え、この旨も合わせて窓口にお伝えください。

※「パスワードを忘れた場合」から処理は出来ませんのでご注意ください

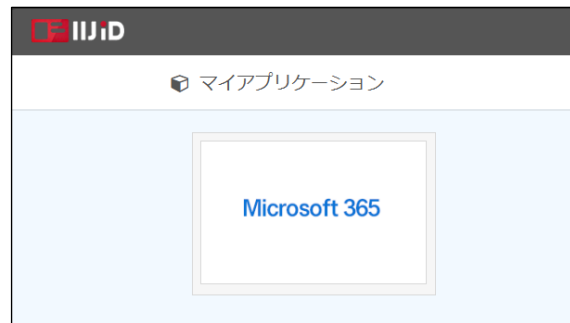


「パスワードを忘れた場合」
はクリックしません

Microsoft 365

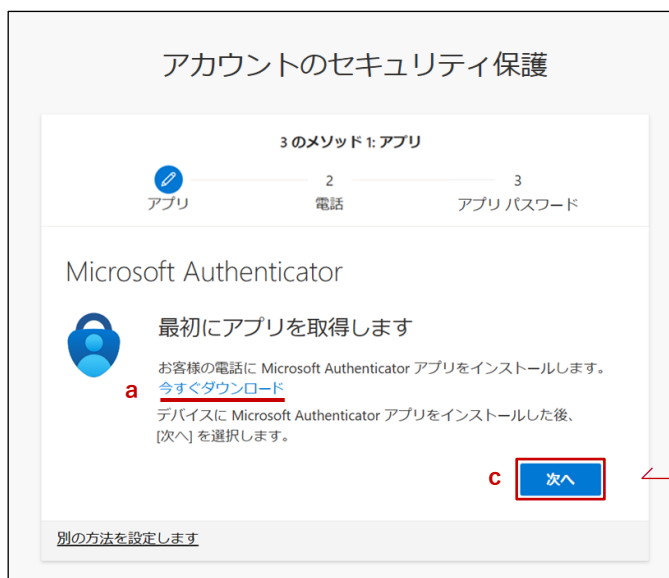
2.1 損保クラウドの初回サインイン

- (4) IJ ID の「マイアプリケーション」の画面に
遷移するので、[Microsoft 365] のタイルを
クリックします。



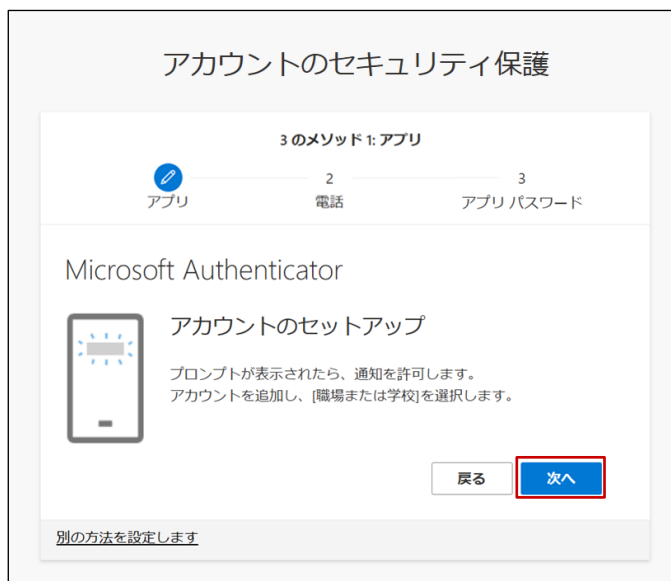
Microsoft 365 による“詳細情報が必要”
の画面に遷移するので、表示している
[次へ] をクリックします。

- (5) 遷移した画面内の **a**「今すぐダウンロード」の QR コードより、使用するスマートフォンに
b Microsoft Authenticator アプリをインストール後に、**c** [次へ] をクリックします。



※アプリを既にダウンロード済の場合には、
c [次へ] に進みます

- (6) 「アカウントのセットアップ」に
遷移するので、画面下部の[次へ]
をクリックします。



スマートフォン側の操作にて
Authenticator アプリを起動し、
a [アカウントを追加] をタップします。



※アプリ起動時に通知送信の
ポップアップが表示した場合
には【許可】をタップします



- b [職場または学校のアカウント]**
を選択し、表示項目より
c “QR コードをスキャン”
をタップします。

(9) 起動したアプリのカメラ機能を利用し、画面上に表示している QR コードを **a スキャン**します。



QR のスキャンにより、ユーザアカウントが同期し、アプリ側にも同様の情報が自動的に設定されるので、パソコン側の画面にて **b [次へ]** をクリックします。



- (10) 遷移した画面にアプリでの認証時に必要となる **a 数字が表示**するので、スマートフォン側にポップアップされる入力箇所にも **b 同様の数字を入力**して **c [はい]** をタップします。

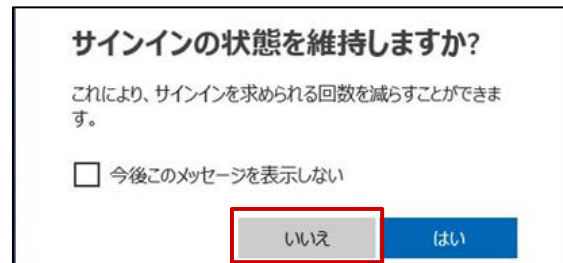


認証された場合、遷移した画面に「**通知が正しく承認されました**」と表示されるので、**d [次へ]** をクリックします。

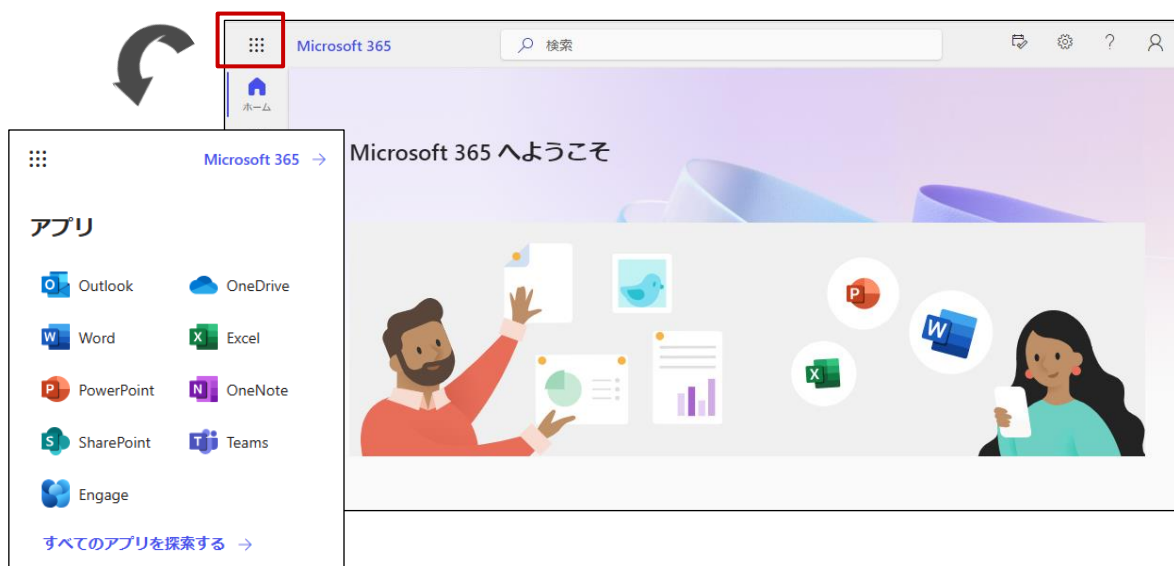


セキュリティ設定が“成功”と表示するので **e [完了]** をクリックします。

- (11) 「サインインの状態を維持しますか？」の画面が表示されますが、利用後にも Microsoft 365 のサインインが維持されるのを回避するための推奨として、「いいえ」をクリックします。



- (12) 通常利用する際の Microsoft 365 の画面に遷移するので、左上のメニュー箇所をクリックして表示するアプリ一覧から、Web 版の Outlook や One Driveなどを起動して利用が可能です。



Microsoft 365 アプリの利用について

損保クラウドサービスが提供しているインターネットブラウザで使用する Microsoft 365 アプリにて、比較的に利用頻度が高い Outlook や One Drive については、以下マニュアルに一般的な使用方法を掲載していますので、必要な場合には適宜ご参照ください。

[■損保クラウド【共通ルールプラン】設定マニュアル](#)

3. Microsoft 365 操作マニュアル

2.2

▶ 損保クラウドにサインインする

損保クラウドの通常サインイン

  Microsoft 365



ここからの作業は



初回以降の通常サインインする際に、IIJ ID を経由し多要素認証を経て、Microsoft 365 の Outlook や One Drive などの、Web アプリを起動までの手順をご案内します。

- (1) 「開通のご案内」に記載の [\[ログイン先 URL\]](#) へアクセスし、ユーザ ID と「2.1 損保クラウドの初回サインイン」[\(3\)](#) で変更したパスワードを各画面に入力し、[次へ] をクリックします。



※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください




※パスワードが相違または不明な場合、「パスワードを忘れた場合」はクリックせず、リセット対応として管理者にご依頼ください



ショートカットを利用してのサインインはエラーの原因となります

ご利用のインターネットブラウザにて、右のような**ショートカット**を作成し、このアイコンを起動して、IIJ ID のアクセスとサインインはお控えください。

上記手法を繰り返す事で処理に不整合が生じ、これにより従来の動作に影響して、**サインイン時にエラー**となる場合があります。

IIJ ID の管理コンソールへ簡易的にアクセスしたい場合には、次ページに掲載している < IIJ ID のサインイン画面を [お気に入り] に登録する > の運用をご検討ください。



💡 IIJ ID のサインインについて

< IIJ ID のサインイン画面を「お気に入り」に登録する

損保クラウドサービスでは、機能上の正常性維持とセキュリティ仕様により、インターネットブラウザにて、IIJ ID の管理コンソールに都度アクセスしてのサインインが必要です。

IIJ ID の管理コンソールでのサインイン画面を、インターネットブラウザの「お気に入り」に追加する事により、簡易的なアクセスが可能です。

★ マーク をクリックすると
「お気に入り」として登録されます

- ご利用のインターネットブラウザが Microsoft Edge の場合 -



< IIJ ID サインインに失敗し、ユーザーアカウントがロックされた場合

IIJ ID のサインイン時に入力するパスワード情報が相違し、サインインを 10 回連続で失敗した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、ログインが出来なくなります。

上記の場合には、10 分程度で対象ユーザーへのロックは自動的に解除されるので、再度のサインインはその後にお試ください。

< 変更済パスワードでサインイン出来ない場合>

仮パスワードから変更した“新しいパスワード”の相違や、失念によりサインイン出来ない場合には、再発行が必要となりますので、そのような場合には「[損保クラウドサービスお問合せ](#)」までご連絡ください。

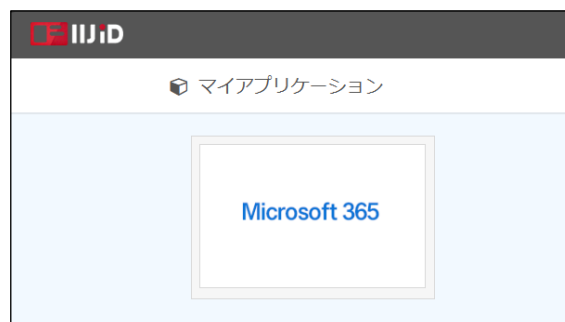
※ 「パスワードを忘れた場合」が表示していた場合、このリンクから再発行の処理は出来ません

※ パスワードの再発行には一定の日数と費用が生じます



「パスワードを忘れた場合」
はクリックしません

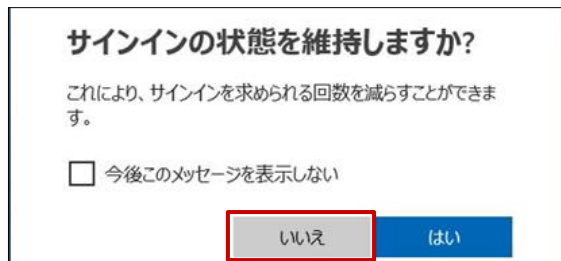
- (2) 画面が IIJ ID の「マイアプリケーション」に遷移するので、表示しているタイルから **[Microsoft 365]** を選択しクリックします。



- (3) [初回サインイン時の Authenticator アプリ](#) による作業にて、認証用アカウントを設定したスマートフォン側に、**アプリ通知がバナーとして表示** されるので、以下手順にてサインイン承認します。



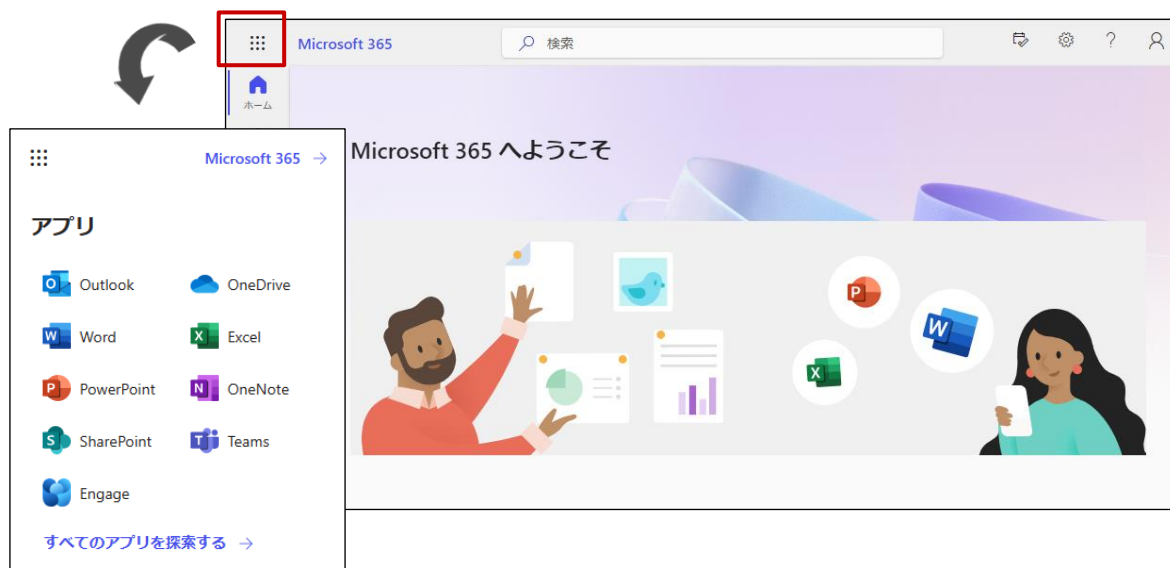
- (4) 「サインインの状態を維持しますか？」の画面が表示されますが、利用後にも Microsoft 365 のサインインが維持されるのを回避するための推奨として、「いいえ」をクリックします。



「サインインするアカウントの詳細を確認する」が表示した場合は、[確認]をクリックします。

メッセージの表示有無は、利用状態により異なり、ご利用のインターネットブラウザの Cookie に依存します

- (5) 通常利用する際の Microsoft 365 の画面に遷移するので、左上のメニュー箇所をクリックして表示するアプリ一覧から、Web 版の Outlook や One Driveなどを起動して利用が可能です。



サインイン 操作マニュアル

3

▶ サインイン設定 の変更と確認

☒  ☒  Microsoft 365

本章ではサインインに関する応用的な設定や操作手順として、パスワードの相違や失念した際のリセットによる再発行の手続き方法と、IIJ ID のサインイン履歴の確認方法、多要素認証を SMS 方式で利用時に通知先となる電話番号の変更方法をご案内します。

Chapter

- | | |
|-----|----------------|
| 3.1 | パスワードの再発行 |
| 3.2 | サインインの履歴を確認する |
| 3.3 | 多要素認証の通知先を変更する |

3.1

▶ サインイン設定の変更と確認

パスワードの再発行



損保クラウドサービスを利用する際に必要なサインイン時のパスワードについて、以下のような理由で認証不可となり、結果としてサインイン後に利用が可能なメールやストレージ機能など、Microsoft 365 アプリの画面までには至らない場合があります。

- ・ 変更済みパスワードの**値が認識とは異なり**、サインイン時に認証エラー
- ・ 変更済み**パスワードの失念**により、項目に値を入力する事が出来ない
- ・ サービス開始からサインインしておらず、[仮パスワードの有効期限切れ](#)

※パスワード相違でサインインに失敗した場合

ID 誤入力も同画面となるため
内容に相違が無いか要確認

💡 サインインを 10 回連続で
失敗すると **10 分間ロック**され、
その後に自動解除されます

⚠ 「パスワードを忘れた場合」
のリンクが表示時には、
ここは**クリック禁止**

上記例のような状況により、サインインが出来ない場合には、弊社の担当窓口にてリセット処理に伴うパスワードの再発行が必要となりますので、以下の担当窓口までご依頼ください。

■パスワード再発行のご依頼について

[新規お申し込み、ご契約について](#)に関するお問い合わせのご案内

※ 再発行には一定の日数と費用が生じますが、詳細は窓口にてご確認ください

3.2

▶ サインイン設定の変更と確認

サインインの履歴を確認する



ここからの作業は



自身が損保クラウドにサインインした際の日時、IP アドレスやデバイスなどの接続元を、IIJ ID の履歴情報から確認する方法です。

- (1) 「開通のご案内」に記載の [【ログイン先 URL】](#) へアクセスし、ユーザ ID と「2.1 損保クラウドの初回サインイン」 [\(3\)](#) で変更したパスワードを各画面に入力し、[次へ] をクリックします。

※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください



※パスワードが相違または不明な場合、「パスワードを忘れた場合」はクリックせず、リセット対応として管理者にご依頼ください

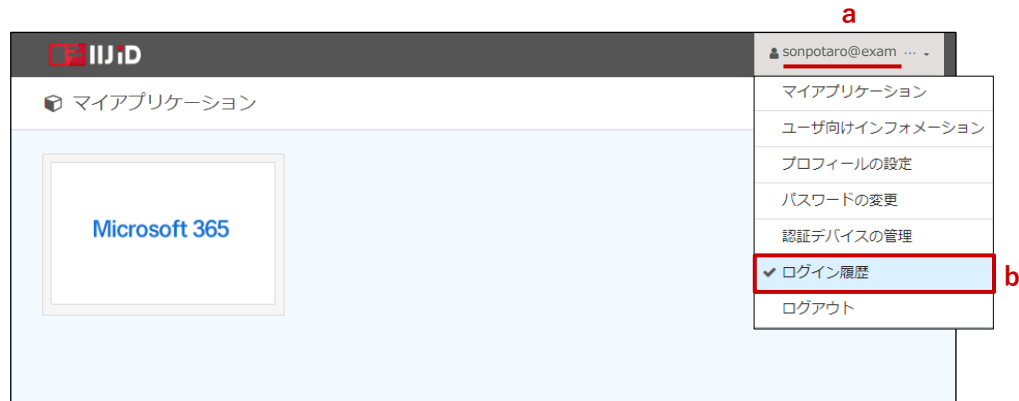


サインインに失敗しロックされた場合

サインイン時に入力するパスワード情報が相違し、**10 回連続で認証失敗**した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、一時的にサインインが出来なくなります。

ロックは **10 分程度で自動的に解除**されるので、再度のサインインはその後にお試しください。

- (2) 遷移した IIJ ID の画面右上に表示している **a アカウント名の箇所**をクリック、展開したメニュー項目から、**b [ログイン履歴]** を選択します。



- (3) 「ログイン履歴」にて、自身のアカウントでサインインした際の詳細が、一覧として表示します。

ログイン履歴				
<ul style="list-style-type: none"> 90日間のログイン履歴を参照できます。 最新のものから最大100件のログを表示しています。 				
ログイン日時	IPアドレス	認証要素	デバイス	FIDO2セキュリティキー
2023/10/05 11:42:17	27.9.29.119.2	パスワード認証	Chrome 117.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/10/05 11:40:09	27.9.29.119.2	仮パスワード認証	Chrome 117.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/09/26 15:14:48	27.9.29.119.2	パスワード認証	Chrome 116.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/09/11 14:10:22	27.9.29.119.2	パスワード認証	Microsoft Edge 116.0.1938.69 (Windows 10 64-bit)	



認識していないサインイン記録について

損保クラウドサービスでは、利用者毎に登録ユーザーの契約が原則となり、Microsoft 365 の規約と合わせ、サインイン時の不整合な処理動作を抑止するため、同一のユーザーアカウントを**複数名で共有しての利用は禁止**しております。

これらを踏まえ、「ログイン履歴」での日時や接続元 IP アドレスが、自身が認識している状況とは異なり、心当たり無い履歴が散見している場合には、不正使用の可能性へのセキュリティ対処として、当該ユーザーアカウントのパスワード再発行や、多要素認証の通知先変更をご検討ください。

[3.1 パスワードの再発行](#)

[3.2 多要素認証の通知先を変更する](#)

3.3

▶ サインイン設定の変更と確認

多要素認証の通知先を変更する



ここからの作業は



多要素認証で使用しているモバイル端末の変更が必要な場合において、これに伴い SMS の通知先としている電話番号も、登録変更する際の設定手順をご案内します。

本章での作業は、**変更前と変更希望の両方のモバイル端末（電話番号）**が必要です。

現状の登録端末を未所持の際は、[「通知先の登録変更が出来ない場合」](#)を参照ください。

損保クラウドサービスでは、サインイン時に実施する多要素認証を、Microsoft 社のセキュリティ強化の施策に伴い、2024 年 12/2 以降は従来の SMS から、**Microsoft Authenticator アプリによる認証方式を推奨**とするべく仕様変更しております。

< 損保クラウドに関するお知らせ > 2024 年 11 月 29 日掲載

[多要素認証設定（MFA）の「標準仕様」の変更](#)

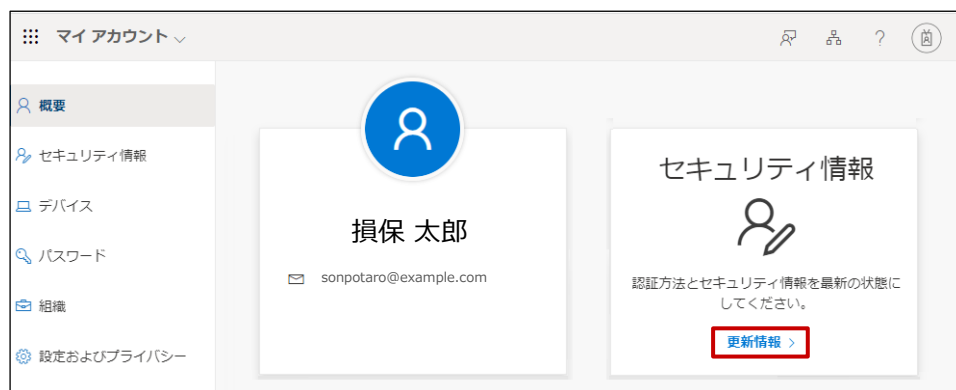
上記の仕様変更に伴い、現状での多要素認証は原則として Microsoft Authenticator アプリが適切となりますが、運用上でアプリのインストールが出来ない、またはスマートフォン自体を所持していないなどの理由により、**アプリ認証が難しい場合には、従来方式による SMS 認証は可能**です。

※Microsoft 社の方針により、将来的に SMS による認証方式が廃止される可能性も有ります

- (1) 現状で登録している電話番号に届くコードにて多要素認証でサインインを実施し、Microsoft 365 にて、**a** **「マイアカウント」** をクリック、表示画面より **b** **「アカウントを表示」** をクリックします。



- (2) 遷移した「マイアカウント」の「セキュリティ情報」の項目より、**「更新情報」** をクリックします。



- (3) 「セキュリティ情報」にて、**現状での登録番号を確認**し、**「変更」** をクリックします。



- (4) 表示する「電話」の詳細画面にて、登録されている現状における通知先となる電話番号を、新たに **a 変更したい電話番号** に修正し、**b [次へ]** をクリックします。

電話

電話で呼び出しに応答するか、携帯ショートメール (SMS) によるコードの送信により、本人確認ができます。

どの電話番号を使用しますか?

日本 (+81) 080XXXXXXXX **a**

☒ コードを SMS 送信する
☐ 電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります: [サービス使用条件](#) および [プライバシーと Cookie に関する声明](#)。

キャンセル **b** 次へ

- (5) 登録を変更した通知先の電話番号に届く SMS に記載の **a コード** を、遷移した「電話」画面に **b 入力**、**c [次へ]** をクリックします。

メッセージ

+81 80 5317 7709 10:34 >

Microsoft 認証に確認コード **a** 074502 を使用します。

通知先の電話番号に届く SMS に記載の確認コードを Microsoft 365 の画面に入力 **b**

電話

+81 070XXXXXXXXX 6桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。

例) 074502

コードの再送信

戻る **c** 次へ

電話

✓ SMS が検証されました。お使いの電話が正常に登録されました。

完了

入力したコードが適切に認証された場合、変更した電話番号が正常登録された旨のメッセージ画面に遷移するので、**[完了]** をクリックします。

- (6) 表示する「電話」の詳細画面にて、登録されている現状における通知先となる電話番号を、新たに **a 変更したい電話番号** に修正し、**b [次へ]** をクリックします。

電話

電話で呼び出しに応答するか、携帯ショートメール (SMS) によるコードの送信により、本人確認ができます。

どの電話番号を使用しますか?

日本 (+81) 080XXXXXXXX **a**

☒ コードを SMS 送信する
☐ 電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります: [サービス使用条件](#) および [プライバシーと Cookie に関する声明](#)。

キャンセル **次へ** **b**

変更したい通知先の電話番号に修正

- (7) 登録を変更した通知先の電話番号に届く SMS に記載の **a コード**を、遷移した「電話」画面に **b 入力**、**c [次へ]** をクリックします。

メッセージ

+81 80 5317 7709 10:34 >
Microsoft 認証に確認コード **074502** を使用します。 **a**

通知先の電話番号に届く SMS に記載の確認コードを Microsoft 365 の画面に入力 **b**

電話

+81 070XXXXXXXXX 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。
例) 074502
コードの再送信
戻る **次へ** **c**

電話

✓ SMS が検証されました。お使いの電話が正常に登録されました。
完了

入力したコードが適切に認証された場合、変更した電話番号が正常登録された旨のメッセージ画面に遷移するので、**[完了]** をクリックします。



受信する SMS の認証コードについて

SMS は Microsoft より国外から発信されており、認証毎に異なる番号で通知される場合があります。

送信元の電話番号（国外）
は都度異なる場合有

メッセージ



+81 80 5317 7709

10:34 >

Microsoft 認証に確認コード 074502 を使用
します。

SMS が届かない場合、受信側にて国外を発信元とする SMS をスパム判定し、受信拒否や隔離処理
されている可能性がありますので、詳細はご契約の通信キャリアにお問合せください。



通知先の登録変更が出来ない場合

多要素認証の通知先を変更するにあたり、以下例のように登録している電話番号が既に使用不可、
または登録番号のモバイル端末を所持していない場合には、自身での**登録変更は出来ません**。

多要素認証のリセットを必要とする場合

例 1) 携帯電話の機種変更などにより、SMS の
通知先となる電話番号が変更となった



090-12X4-5678

⇓

080-9876-5X32



例 2) 利用していた携帯電話の紛失などにより、
SMS の通知確認が出来なくなった



例 3) Microsoft Authenticator アプリを使用時に、
認証が出来なくなった



NG



※ Microsoft Authenticator アプリの利用は推奨外です

このような場合、弊社側で多要素認証のリセット処理を実施し、その後にお客さま自身で新たな
通知先の再登録が必要となりますので、以下の担当窓口までご依頼ください。

■通知先変更に伴う多要素認証のリセット

[損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ](#)

[損保クラウド](#)[共通ルールプラン](#)[利用ガイド](#)

サインイン

操作マニュアル

2023 年	11 月	初版 Ver1.0 発行
2025 年	6 月	Ver2.1 発行

執筆・構成



- ・ サービスが正常に提供出来ている状態で、お客様が任意で利用した各機能でセキュリティ事故が発生した場合、弊社側での責任は負いかねます。
 - ・ 本書に記載の情報は、発行時点における各機能の画面構成を基に掲載しておりますが、提供元の仕様変更などにより、設定方法やレイアウトが実際の画面とは異なる場合がございます。